



2025年度 入学者選抜試験 学生募集要項

[学校推薦型選抜]

公募推薦選抜

赤十字特別推薦選抜

日本赤十字看護大学

さいたま看護学部看護学科（大宮キャンパス）

目 次

入学者選抜留意点	3
災害救助法適用地域の受験生に対する入学検定料免除について	4
アドミッション・ポリシー	5
公募推薦選抜	8
1. 募集人員.....	8
2. 学位 / 修業年限.....	8
3. 卒業時取得資格.....	8
4. 推薦基準.....	8
5. 入学者選抜試験日程.....	8
6. 試験場.....	9
7. 選抜方法.....	9
8. 入学者選抜試験時間割.....	9
赤十字特別推薦選抜	10
1. 募集人員.....	10
2. 学位 / 修業年限.....	10
3. 卒業時取得資格.....	10
4. 推薦基準.....	10
5. 入学者選抜試験日程.....	11
6. 試験場.....	12
7. 選抜方法.....	12
8. 入学者選抜試験時間割.....	13
9. 公募推薦選抜との併願について.....	13
10. 赤十字特別推薦選抜合格者対象の奨学金について.....	13
入学検定料	15
1. 入学検定料について.....	15
2. 入学検定料の支払い.....	15
出願手続	16
1. 赤十字特別推薦と公募推薦の併願.....	16
2. 出願書類一覧.....	16
3. 出願書類の詳細.....	16
4. 出願書類に関する注意事項.....	19
受験上または修学上の配慮に関する事前相談について	20
入学者選抜試験当日の注意事項	21
1. 集合時間・試験時間等.....	21
2. 所持品等について.....	21

3. その他の注意事項.....	23
4. 不正行為について.....	23
合格発表	25
1. 合格発表方法について.....	25
2. 合格発表に関する注意事項.....	25
入学手続	26
1. 入学手続について.....	26
2. 授業料等納付金.....	26

入学者選抜留意点

- 「学生募集要項」には、出願から入学手続までのすべての事項を記載しています。はじめによく確認し、思い違い・書き間違いのないように十分注意してください。
- 「入学者選抜試験当日の注意事項」が記載されています。試験の前によく読んで、試験当日は必ずこの「学生募集要項」を持参してください。
- 入学者選抜試験等についての問い合わせは、やむを得ない場合を除き受験生本人が行ってください。
- 試験当日、駅や大学周辺でチラシ等を配布している者がいても、本学とは一切関係ありません。したがって、いかなる事故・損害・トラブルが生じた場合でも、本学は一切責任を負いませんので十分注意してください。

個人情報の取り扱いについて

- 出願及び入学手続にあたってお知らせいただいた氏名・住所・その他の個人情報は、①入学者選抜試験実施（出願処理・試験実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査及び分析、⑤これらに付随する事項を行うために利用します。
- 赤十字特別推薦選抜は、日本赤十字社各県支部・医療施設が本学と連携して実施し、本選抜による入学者を奨学生として採用する選抜制度です。本学が取得した入学志願者及び合格者の個人情報（入試結果成績を含む）は、奨学生として採用される日本赤十字社各県支部・医療施設に提供いたします。
- 本学は、法律で定められた適正な手続きにより開示を求められた場合や秘密保持契約を締結した協力会社に業務を委託する場合を除き、本人の承諾なしに第三者に個人情報を開示・提供することはありません。

選抜名称の表記について

この学生募集要項では、各選抜の名称を次のように表記することがあります。

- ・ 公募推薦選抜 → 公募推薦
- ・ 赤十字特別推薦選抜 → 赤十字特別推薦

災害救助法適用地域の受験生に対する入学検定料免除について

本学では、2023年4月1日以降に指定された災害救助法適用地域出身で、住居等に被害が生じた受験生を対象に、入学検定料を免除する措置を行います。詳細及び申請書等は、本学ホームページに掲載しますので、そちらをご確認のうえ手続きを行ってください。

アドミッション・ポリシー

本学では、赤十字の理念に基づき、看護の実践と研究に必要な基礎的能力を持ち、人類と国際社会に貢献できる、幅広い教養と豊かな人間性のある人材を育てることを目指しています。そのために、次のような学生を求めています。

1. 赤十字理念である人道（Humanity）に共感し、自分も他者も大切にできる人
2. 看護学を学ぶために必要な基礎学力を持ち、論理的に考えることができる人
3. 感性が豊かで、多様な人とコミュニケーションをとることができる人
4. 看護に関する学問・実践の楽しさや深さを発見し、持続的に学ぼうとする意欲を持つ人

個別学力試験を課する一般選抜、大学入学共通テストを利用する4種類の一般選抜、及び3種類の学校推薦型選抜というさまざまな入学者選抜方式を採用し、多様な人材を受け入れることを目指しています。

[一般選抜]

リテラシー（読解記述力）と理数系科目の基礎学力及びコミュニケーション能力・学ぶ意欲についてバランスが取れた者を選抜します。

- 基礎学力：英語、国語（記述式問題を含む）、理数系選択科目（数学、生物、化学、生物基礎と化学基礎から1科目選択）
- コミュニケーション能力・学ぶ意欲：面接（グループ討議・個人面接）

[大学入学共通テスト利用選抜]

基礎学力を重視して選抜します。試験科目によって4種類の入学者選抜試験があります。

I-A：理数系の基礎学力を審査

英語（リーディング及びリスニング）、数学Ⅰ、数学A、理数系選択科目（数学Ⅱ、数学B、数学C、生物、化学、物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎から1科目選択）

※ 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「化学基礎」と「生物基礎」を選択解答すること。

I-B：リテラシー（読解力）の基礎学力を審査

英語（リーディング及びリスニング）、数学Ⅰ、数学A、国語（近代以降の文章）

Ⅱ：リテラシー（読解力）もしくは理数系の基礎学力を審査

英語（リーディング及びリスニング）、選択科目（数学Ⅰ、数学A、国語（近代以降の文章）、生物、化学、物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎から2科目選択）

- ※ 選択科目は、数学Ⅰ、数学A、国語（近代以降の文章）から必ず1つ以上選択すること。
- ※ 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「化学基礎」と「生物基礎」を選択解答すること。

赤十字6看護大学連携併願選抜：リテラシー（読解力）及び理数系の基礎学力を審査

英語（リーディング及びリスニング）、国語（近代以降の文章）、理数系選択科目（数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B、数学C、物理、化学、生物、地学、物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎から1科目選択）

- ※ 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、2出題範囲を選択解答すること。

[学校推薦型選抜]

総合的な基礎学力とコミュニケーション能力・学ぶ意欲を有する者を選抜します。指定校推薦選抜、公募推薦選抜、赤十字特別推薦選抜の3種類があります。

特に赤十字特別推薦選抜では、赤十字の理念を理解し、将来日本赤十字社の看護専門職者として活躍する強い意志を有する者を選抜します。

公募推薦選抜、赤十字特別推薦選抜

- 基礎学力：調査書「全体の学習成績の状況」、資料読解（記述を含む）
- コミュニケーション能力・学ぶ意欲：面接（グループ討議・個人面接）

指定校推薦選抜

- 基礎学力：調査書「全体の学習成績の状況」、小論文
- コミュニケーション能力・学ぶ意欲：面接（グループ討議・個人面接）

■ 入学までに身につけてほしいこと

本学入学後は、看護学を修得するための独自のカリキュラムに沿って学び、ディプロマ・ポリシーに定める8つの力を身につけることを目指します。

そのために、大学入学資格取得に必要な教育課程（または試験）における基本的な国語の読解記述力と英語力、及び生物・化学・数学の基礎学力を身につけておくことが望まれます。

また、多様な価値観を持つ人々と関係を築いていくためのコミュニケーション能力も重要となります。

- ※ カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーは大学案内や本学ホームページをご覧ください。

■ 各選抜区分・種別と「学力の3要素」評価方法・比重等の対照表

選抜区分	実施時期	選抜種別	選抜方法	学力の3要素				コミュニケーション能力 学ぶ意欲
				①	②		③	
				知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性を持って 多様な人々と協働 して学ぶ態度	
学校推薦型選抜	11月	指定校 推薦選抜	小論文	○	○	○		
			面接		○	○	○	○
		公募 推薦選抜	資料読解 (記述を含む)	○	○	○		
			面接		○	○	○	○
		赤十字特別 推薦選抜	資料読解 (記述を含む)	○	○	○		
			面接		○	○	○	○
一般選抜	2月	一般選抜	筆記試験 (記述を含む)	○	○	○		
			面接		○	○	○	○
	2月 3月	共通テスト 利用選抜	I-A	大学入学 共通テスト	○	○		
			I-B	大学入学 共通テスト	○	○		
			II	大学入学 共通テスト	○	○		
			赤十字 6看護大学 連携併願	大学入学 共通テスト	○	○		

○：重点評価項目

※ 学校推薦型選抜では、高等学校の学習成績を全体的に把握して評価することを目的に、調査書の「全体の学習成績の状況」を出願要件として利用します。

※ 学校推薦型選抜及び一般選抜では、出願書類（調査書を含む）に記載された高等学校の段階における学習・活動の記録を面接で確認し、「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」及びコミュニケーション能力・学ぶ意欲を評価します。

公募推薦選抜

1. 募集人員

さいたま看護学部 看護学科

入学定員80名のうちの約50%（指定校推薦、赤十字特別推薦を含む）

2. 学位 / 修業年限

学士（看護学） / 4年

3. 卒業時取得資格

看護師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格：選択履修/学年定員20名

4. 推薦基準

次の各号のいずれにも該当し、高等学校長または中等教育学校長が責任をもって推薦できる者
なお、各校からの推薦人数に制限はありません。

- (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）を2025年3月に卒業見込みの者、または文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2025年3月に修了見込みの者

※ ただし、在籍する、もしくは在籍した高等学校または在外教育施設の卒業（修了）月がその学校の規定上、上記の3月以外に定められている場合には、2024年4月以降2025年2月までの卒業（修了）者、卒業（修了）見込みの者も、2025年3月卒業（修了）見込みの者と同じと見なします。

- (2) 高等学校在学中の全体の学習成績の状況が4.0以上で、本学において優秀な学習成果をあげることが期待できる者

※ 調査書に記載する成績の期間については17ページ(3)調査書を確認してください。

- (3) 看護の分野における学習と実践活動への意欲とそれを実現できる適性と能力を持ち、本学への入学を強く希望する者
- (4) 合格した場合、入学を確約できる者

※ 出願資格について確認したい場合は入学課 入試係（広尾キャンパス）までお問い合わせください。

5. 入学者選抜試験日程

- (1) 出願は、出願期間内に「インターネット出願システムによる登録」、「入学検定料の支払い」、「必要書類の郵送」を全て行うことで完了します。
- (2) 「必要書類の郵送」は、出願期間最終日の消印有効です（日本国外から送付する場合は出願期間最終日の翌営業日必着）。

出願期間	2024年11月1日（金）～2024年11月11日（月） ※ 最終日の消印有効
試験日	2024年11月23日（土）
合格発表	2024年12月9日（月） （合否照会サイト・合格通知書の郵送）
入学手続期間	2024年12月10日（火）～2024年12月17日（火） ※ 最終日の消印有効

6. 試験場

日本赤十字看護大学（大宮キャンパス）

埼玉県さいたま市中央区上落合8丁目7番19号

7. 選抜方法

筆記試験、面接及び書類審査を総合して合格者を決定します。筆記試験はマークシート方式及び記述式で行います。なお、出題形式及び配点は次の通りです。

■筆記試験

試験科目	出題形式	時間	配点
資料読解	様々な領域に関する資料を読み、選択肢の中から設問に答える（一部に記述式を含む）。	60分	100点 （うち、記述式の配点は15点程度）

記述式の出題の意図について

大学入学後の学修において必要となる文章・資料の読解判断力・論理的思考力に基づいた確かつ簡潔な文章の記述表現力を評価することを目的とします。

■面接

形式	配点
グループ討議・個人面接	30点

8. 入学者選抜試験時間割

時間	試験内容等
8:40	集合
9:00～10:00	「筆記試験」
10:50～14:00（予定）	「面接」

赤十字特別推薦選抜

1. 募集人員

さいたま看護学部 看護学科 8名

日本赤十字社各県支部名	医療施設名	募集人員（単位：名）
日本赤十字社茨城県支部	水戸赤十字病院	1
	古河赤十字病院	1
日本赤十字社栃木県支部	芳賀赤十字病院	1
	那須赤十字病院	1
	足利赤十字病院	1
日本赤十字社埼玉県支部	小川赤十字病院	1
	深谷赤十字病院	2
計		8

2. 学位 / 修業年限

学士（看護学） / 4年

3. 卒業時取得資格

看護師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格：選択履修／学年定員20名

4. 推薦基準

次の各号（1）～（5）、及び出願する日本赤十字社の各県支部が指定する推薦基準のいずれにも該当し、高等学校長または中等教育学校長が責任をもって推薦できる者

なお、各校からの推薦人数に制限はありません。

- （1）高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）を2025年3月に卒業見込みの者、または文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2025年3月に修了見込みの者

※ ただし、在籍する、もしくは在籍した高等学校または在外教育施設の卒業（修了）月がその学校の規定上、上記の3月以外に定められている場合には、2024年4月以降2025年2月までの卒業（修了）者、卒業（修了）見込みの者も、2025年3月卒業（修了）見込みの者と同じと見なします。

- （2）高等学校在学中の全体の学習成績の状況が3.8以上で、本学において優秀な学習成果をあげることが期待できる者

※ 調査書に記載する成績の期間については17ページ（3）調査書を確認してください。

- （3）赤十字の人道的任務を達成するため、卒業後各県支部管轄内の赤十字施設で、看護師として社会に貢献する積極的な意思を有する者

- (4) 看護の分野における学習と実践活動への意欲とそれを実現できる適性と能力を持ち、本学への入学を強く希望する者
- (5) 合格した場合、入学を確約できる者

日本赤十字社の各県支部が指定する推薦基準

- (1) 支部が所在する県内の高等学校を2025年3月に卒業見込みの者、または県外の高等学校を2025年3月に卒業見込みで県内に住所を有する者

※1：県とは、支部が所在する県とする。

※2：県内に住所を有する者とは、入学志願者またはその一親等の親族が、入学年の前年の4月1日から引き続き県内に住所を有する者とする（一親等の親族とは父または母とします）。

※3：通信制の高等学校卒業見込み者については、「支部が所在する県内に住所を有する者」に限る。

【注】赤十字特別推薦選抜は、出願時に日本赤十字社の赤十字施設を1つ選択していただくこととなりますが、その赤十字施設が本学卒業後、直ちに、一定期間勤務する赤十字施設となります。出願後の変更は認められませんので、慎重に検討したうえで選択してください。

※ 出願資格について確認したい場合は入学課 入試係（広尾キャンパス）までお問い合わせください。

5. 入学者選抜試験日程

- (1) 出願は、出願期間内に「インターネット出願システムによる登録」、「入学検定料の支払い」、「必要書類の郵送」を全て行うことで完了します。
- (2) 「必要書類の郵送」は、出願期間最終日の消印有効です（日本国外から送付する場合は出願期間最終日の翌営業日必着）。

出願期間	2024年11月1日（金）～2024年11月11日（月） ※ 最終日の消印有効
第1次試験日	2024年11月23日（土）
第1次合格発表日	2024年11月28日（木） （合否照会サイト）
第2次試験日	2024年11月30日（土）
第2次合格発表	2024年12月9日（月） （合否照会サイト・合格通知書の郵送）
入学手続期間	2024年12月10日（火）～2024年12月17日（火） ※ 最終日の消印有効

6. 試験場

第1次試験：

日本赤十字看護大学（大宮キャンパス）

埼玉県さいたま市中央区上落合8丁目7番19号

第2次試験：

日本赤十字看護大学（広尾キャンパス）

東京都渋谷区広尾4丁目1番3号

【注】第1次試験の試験場とは異なりますので、ご注意ください。

7. 選抜方法

筆記試験、面接及び書類審査を総合して合格者を決定します。筆記試験はマークシート方式及び記述式で行います。なお、出題形式及び配点等は次の通りです。

第1次試験

■ 筆記試験

試験科目	出題形式	時間	配点
資料読解	様々な領域に関する資料を読み、選択肢の中から設問に答える（一部に記述式を含む）。	60分	100点 （うち、記述式の配点は15点程度）

記述式の出題の意図について

大学入学後の学修において必要となる文章・資料の読解判断力・論理的思考力に基づく的確かつ簡潔な文章の記述表現力を評価することを目的とします。

■ 面接

形式	配点
グループ討議・個人面接 ※ 本学教員による面接実施	30点

第2次試験

■ 面接

形式
個人面接 ※ 本学教員及び日本赤十字社職員による面接実施

※ 第2次試験は面接及び第1次試験の結果を総合して評価します。

8. 入学者選抜試験時間割**第1次試験**

時間	試験内容等
8:40	集 合
9:00～10:00	「筆記試験」
10:50～14:00（予定）	「面 接」

第2次試験

時間	試験内容等
午後から開始予定	集 合
※ 詳細は第1次試験合格者に別途お知らせします。	出席確認 面接ガイダンス
面接ガイダンス終了後	「面 接」

9. 公募推薦選抜との併願について

赤十字特別推薦選抜に志願する学部の公募推薦選抜への併願を可能とし、併願した者については、赤十字特別推薦選抜に不合格となった場合に、公募推薦選抜で選抜を行います。

※ 公募推薦選抜を併願する者は、公募推薦選抜の推薦基準にも該当しているものとします。

※ 看護学部との併願はできません（同一学部内でのみ併願可能）。

10. 赤十字特別推薦選抜合格者対象の奨学金について

入学後、次の奨学金が各県支部あるいは医療施設から貸与されます。

奨学金に関することは日本赤十字社各県支部にお問い合わせください。

合格後、各県支部あるいは医療施設との間で奨学金の貸与契約を締結することになります。

日本赤十字社関係奨学金（各貸与規程による）

県支部名		医療施設名	貸与年額	お問い合わせ先
日本赤十字社各県支部	茨城県支部	水戸赤十字病院	600,000 円	〒310-0914 茨城県水戸市小吹町 2551 TEL 029 (241) 4516
		古河赤十字病院	600,000 円	
	栃木県支部	芳賀赤十字病院	600,000 円	〒320-8508
		那須赤十字病院	600,000 円	栃木県宇都宮市若草 1-10-6 とちぎ福祉プラザ 4階
		足利赤十字病院	600,000 円	TEL 028 (622) 4801
	埼玉県支部	小川赤十字病院	600,000 円	埼玉県支部 〒330-0064 埼玉県さいたま市浦和区岸町 3-17-1 TEL 048 (789) 7117
		深谷赤十字病院	600,000 円	小川赤十字病院 人事課 TEL 0493 (72) 2333 (代表) 深谷赤十字病院 人事課 TEL 048 (571) 1511 (代表) ※ 埼玉県支部の奨学金に関しては、各病院の 人事課にもお問い合わせいただけます。

(※ 赤十字特別推薦選抜合格者対象の内容です。)

入 学 検 定 料

1. 入学検定料について

入試種別	公募推薦選抜	赤十字 特別推薦選抜	入学検定料（円）
出願有無	○		35,000
		○	35,000
	○	○	40,000※

※ 赤十字特別推薦と公募推薦を併願する場合、入学検定料が割引になります。

※ 併願の出願は1回（同時出願）のみ受け付けます。

※ 同時出願した場合の、割引後の金額です。

2. 入学検定料の支払い

- (1) 必ず本学ホームページ等に掲載の『インターネット出願ガイド』に沿って手続きをしてください。
- (2) クレジットカード、コンビニエンスストアでの支払いが可能です。取扱期間最終日はコンビニエンスストアでの取扱時間が異なりますのでご注意ください。
- (3) 入学検定料支払いの領収証は提出不要です。控えとして各自保管してください。
- (4) 入学検定料の支払い期間は、各入試種別の出願期間に準じます。
- (5) 出願書類の未提出及び出願が受理されなかった場合は入学検定料を返還します。該当する場合は、入試日までに入学課 入試係（広尾キャンパス）に連絡してください。返還を受けるには、本学所定の「検定料返還申請書」に必要事項を記入の上、提出いただく必要があります。なお、振込手数料や事務手数料については、返還対象外です。

出 願 手 続

出願はインターネット出願システムによって受け付けます。詳細は、本学ホームページ等に掲載の「インターネット出願ガイド」を確認してください。

1. 赤十字特別推薦と公募推薦の併願

- (1) 赤十字特別推薦を第一志望とし、かつ公募推薦の出願資格を満たす場合のみ併願が可能です。
- (2) 併願は同一学部内に限ります（看護学部との併願はできません）。
- (3) 併願の出願は1回（同時出願）のみ受け付けます。後からの追加出願は受け付けませんのでご注意ください。

2. 出願書類一覧

出願書類は次のとおりです。学校や公的機関などに発行を依頼するものと、「インターネットでの出願登録」「入学検定料の支払い」後にご自身で印刷していただくものがあります。

【公募推薦】

- 願書・写真票
- 受験番号シート
- 調査書等の証明書類
- 志望理由書 **併願の場合は1部で可**
- 推薦書
- その他書類（出願資格において提出が必要な該当者のみ）

【赤十字特別推薦】

- 願書・写真票
- 受験番号シート
- 調査書等の証明書類
- 志望理由書 **併願の場合は1部で可**
- 推薦書
- 住民票等居住証明書（該当者のみ）
- その他書類（出願資格において提出が必要な該当者のみ）

3. 出願書類の詳細

- (1) 「願書・写真票」「受験番号シート」
 - ・ 赤十字特別推薦と公募推薦を併願する場合、入試種別ごとに必要です。インターネット出願システムを利用して入力・印刷してください。
 - ・ 提出した願書の入力内容は変更できません。

(2) 写真

- ・ インターネット出願システム上に JPEG データ形式で写真データをアップロードし、顔写真を登録してください。
- ・ 登録した写真データは、試験当日の受験生本人の照合に用います。顔がはっきりと確認できるものを使用してください。
- ・ 以下の写真データの仕様等を満たしていれば写真店等で撮影したものでなくても構いませんが、写真が不鮮明な場合は受験に支障をきたすことがありますので注意してください。
- ・ 写真データはインターネット出願システムの画面上でサイズを調整できます。顔がはっきり映るように登録してください。
- ・ 登録した写真データは、学生証には利用しません。

[写真データの仕様等]

- ・ 入試日前3ヶ月以内に撮影した本人の写真であること。
- ・ 本人のみが写っていること。
- ・ 正面向き、上半身（胸から上）、無帽であること（顔に影がないもの）。
- ・ 背景は無地であること（白・青・グレー等が望ましい）。
- ・ 試験時間中に眼鏡をかける者は、必ず眼鏡をかけて撮影すること。逆に試験時間中に眼鏡をかけない者は、写真でも着用しないこと。
- ・ 目元輪郭を隠していないこと。
- ・ ピントが合っていて、鮮明であること。
- ・ 画像に加工を施していないこと（縦横比を変更しないサイズ調整や余白の切り取りは可）。
- ・ 写真データの形式は「JPEG」であること。

[留意点]

- ・ カラー・白黒は問いません。
- ・ 写真店等で撮影する場合は、写真データを JPEG 形式で入手することをお勧めします。
- ・ 背景に家具等が写り込まないように注意してください。
- ・ 100KB以下のデータは、低画質の可能性が高く、受験生本人の照合に使用できない場合があります。
- ・ 不鮮明であったり顔が隠れているなど受験生本人の照合に使用できない場合は、再提出の依頼をします。後日、顔写真承認または否認の確認メールが届きます。なお、確認メールの到着前、及び出願内容の確認画面における顔写真データが「未承認」の状態でも、出願書類を郵送する手続きは先に進めてください。

(3) 調査書

- ・ 2025年度入学者選抜に使用される調査書の様式に従い、出身学校長が発行し、厳封したものを提出してください（開封無効）。
- ・ 最終学年の成績は、第1学期または前期までの評価を記載してください。

- ・ 備考欄に第1学期または前期どちらまでの成績が記載されているか明記してください（日付による記載はお控えください）。

例：第3学年の成績は1学期／前期までのものである。

- ・ 赤十字特別推薦と公募推薦を併願（同時出願に限る）する場合は、あわせて1部のみ用意してください。
- ・ 次に該当する場合は、指定の方法に沿って記載してください。

【学期制を導入していない場合】

- ① 最終学年9月までの評価を記載してください。
- ② 備考欄に制度の名称及び9月末までの成績を記載している旨を明記してください。

例：〇〇制のため、第3学年の成績は9月末までのものを記載している。

【学校の制度により、最終学年第1学期または前期、あるいは9月までの成績を記載できない場合】

- ① 出願時点で成績が確定している期間の評価を記載してください。
- ② 備考欄に最終学年第1学期または前期、あるいは9月までの成績を記載できない理由、及びいつまでの成績を記載しているか明記してください。

(4) 志望理由書

- ・ 志望理由を800字程度で自筆で記入し提出してください。
- ・ 書式は本学ホームページまたはインターネット出願サイトの「はじめに」ページからダウンロードしてください。
- ・ 赤十字特別推薦と公募推薦を併願（同時出願に限る）する場合は、あわせて1部のみ用意してください。

(5) 推薦書

- ・ 出身学校長が発行し、厳封したものを提出してください。
- ・ 書式は本学ホームページまたはインターネット出願サイトの「はじめに」ページからダウンロードしてください（作成にあたり手書き、PCでの入力はいりません）。
- ・ 赤十字特別推薦と公募推薦を併願（同時出願に限る）する場合は、あわせて1部のみ用意してください。

(6) 住民票等居住証明書（赤十字特別推薦選拔出願者のみ）

- ・ 高等学校が所在する県の支部・病院に出願する場合は不要です。
- ・ 入学志願者またはその一親等の親族（父または母）が、入学年の前年の4月1日から引き続き県内に住所を有することを証明する書類として該当者の住民票等を提出してください（同一県内において、出願時まで複数回転居している場合は、全ての転居歴を証明すること）。
- ・ 一親等の親族（父または母）が県内に住所を有することを証明する書類等を提出する場合は、入学志願者との関係がわかるものとして、次のいずれかを一つ提出してください。

- ① 住民票（続柄が記載されているもの）
 - ② 志願者の出身高等学校長が発行する証明書（任意書式・学校長の証明印）
 - ③ 健康保険証の写し（続柄が記載されているもの）
 - ※ 保険者番号及び被保険者等記号・番号にはマスキングを施すこと
 - ④ 市区町村役場が発行するもので入学志願者との関係がわかるもの
- ・ 出願日前3ヶ月以内に発行されたもので、個人番号（マイナンバー）の記載がないものを提出してください。
- (7) その他
- ・ 受験上の配慮の申請をし、本学が発行した「受験上の配慮事項決定通知書」を受領した方は、「受験上の配慮事項決定通知書」のコピーを同封してください。
20ページ「受験上または修学上の配慮に関する事前相談等について」を併せてご覧ください。

4. 出願書類に関する注意事項

- (1) すべての出願書類を「封筒貼付用宛名シート」を貼った封筒に入れ、「送付書類のチェックリスト」を確認したうえで簡易書留・速達にて郵便局窓口から郵送してください。
- (2) 赤十字特別推薦と公募推薦の併願においても一つの封筒で郵送してください（「封筒貼付用宛名シート」に記載された入試種別別の出願書類は、入試種別ごとにクリップ等でまとめ、すべて一つの封筒に入れてください）。
- (3) 氏名について、「調査書」等の証明書類と入力した願書の表記が異なる場合は、本人であることを証明する書類を添えてください（戸籍抄本等）。ただし、旧字体や略字体との相違については問いません。（例）澤⇔沢
- (4) 出願書類の中に和文・英文以外を含む場合は、和訳または英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことを出身校等の学校長印または大使館等の公的機関で証明を受けて添付してください。
- (5) 日本国内で2つ以上の高等学校に在籍した場合は、次のいずれかの方法で前籍校に関する証明を出してください。
 - ・ 在籍校の調査書に転入前の成績を転記し、その旨を調査書に明記する。
 - ・ 前籍校の調査書（または成績証明書）を、在籍校の調査書とあわせて提出する。
 - ・ 在籍校が保管する前籍校の調査書（または成績証明書）のコピーに、在籍校の学校長印で原本と相違ないことを証明する。
- (6) 海外留学による単位認定を受けた場合や、海外の高等学校から編入・転入した場合は、海外で在籍していた学校の発行する成績証明書を、在籍校の調査書に加えて提出してください。証明書をコピーで提出する場合は、在籍校の学校長印で原本と相違ないことを証明してください。なお、単位が認定されていない海外留学については、証明書の提出は不要です。
- (7) 出願書類に不備のある場合は受理できません。また、受理した出願書類の内容変更・

差し替えは認めません。ただし、氏名・住所・電話番号に変更があった場合は入学課入試係（広尾キャンパス）まで連絡し、指示に従ってください。

- (8) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可の後でもこれを取り消します。
- (9) 提出された出願書類はいかなる理由があっても返却しません。

受験上または修学上の配慮に関する事前相談について

本学に入学を志願する方で、障がい等を有する等、受験上または修学上特別な配慮を必要とする方はご相談に応じておりますので、**出願期間が始まる3週間前まで**を目処に入学課 入試係（広尾キャンパス）へお問い合わせください。（※受験上の配慮を希望する場合、出願前の事前申請が必要です。）

それ以降のお問い合わせについては、ご連絡いただいた時期によって準備が整わない場合がありますので、予めご了承ください。

※ お問い合わせ先は、巻末をご覧ください。

入学者選抜試験当日の注意事項

1. 集合時間・試験時間等

- (1) 試験当日は交通機関の混雑が予想されます。試験場には早めに到着するように心がけてください。試験室及び面接控室は、試験当日に受付で案内します。
- (2) 事故や自然災害等の発生により試験開始時刻を繰り下げる等の変更をする場合は、本学ホームページにお知らせを掲載します。
- (3) 集合時間はそれぞれ次のとおりとします。

■ 公募推薦／赤十字特別推薦（第1次試験）

集合時間（試験開始20分前）までに指定された試験室に入室し、必ず自分の受験番号と同じ番号の席に着いてください。それ以降に到着した場合、注意事項の説明や問題冊子・解答用紙の配付等で試験時間が短くなることがあります。

なお、試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻から30分以内の遅刻に限り受験を認めます。それ以降に到着した場合、試験を受けることができません。

■ 赤十字特別推薦（第2次試験）

集合時間までに面接控室に入室し、必ず自分の受験番号と同じ番号の席に着いてください。集合時間まで受験を認めます。それを越えた遅刻の場合、試験を受けることはできません。

- (4) 指定された試験場・試験室・座席以外での受験は認めません。
- (5) 開場時間は別途お知らせします。
- (6) 事故などによる交通機関の遅れに伴う遅刻など、特別な事情による遅刻については受験を認めることがありますので、案内係に申し出て指示を受けてください。
- (7) 面接の順番は、試験当日の面接ガイダンスで発表します。受験番号順とは限りませんので、帰りの交通機関は時間に余裕をもって予約することをお勧めします。

2. 所持品等について

- (1) 出願が受理されると、登録したメールアドレスへ「受験票発行メール」が届きます。受験票は印刷し切り取ったうえで、試験当日必ず携帯してください。入場時に提示が必要です。万一、受験票を紛失または忘れた場合は、試験場の入口で案内係に申し出て指示を受けてください。
- (2) 試験時間中に机の上に置いてよいものは次のとおりです。これ以外の所持品を使用または机の上に置いている場合には、解答を一時中断させて試験終了まで預かることがあります。
 - ・ 受験票（右側の説明文は机の上に置いてはいけません。必ず切り取ってください。）
 - ・ 黒の鉛筆、鉛筆キャップ、もしくはシャープペンシル（F、HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。）
 - ・ シャープペンシルの芯（ケースから中身だけ取り出したもの。）
 - ・ プラスチック製の消しゴム

- ・ 鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
 - ・ 時計（辞書・電卓・端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー、卓上型・大型のものは不可。）
 - ・ 眼鏡
 - ・ ハンカチ
 - ・ 目薬
 - ・ ティッシュペーパー（袋や箱から中身だけ取り出したもの。）
- (3) 試験時間中に次のものを使用してはいけません。
- ・ 耳栓
 - ・ 色鉛筆
 - ・ 下敷
 - ・ 定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
 - ・ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類
- ※ イヤホンは耳に装着していれば使用しているものとします。
- ※ 病気・負傷や障がい等により試験中に補聴器等を使用したい場合は、出願前の事前申請が必要です（20ページ「受験上または修学上の配慮に関する事前相談等について」）。
- (4) 試験時間中に使用してはいけない電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってください。試験場の建物を出るまで、携帯電話・スマートフォン等（メール・SNSを含む）の使用は一切禁じます（休憩時間を含む）。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず身につけていたり、手に持っている場合は不正行為となります。
- (5) 和歌・短歌・ことわざ・格言等の慣用句、英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には脱いでもらうことがあります。
- (6) 試験場内は場所によって寒暖の差がありますので、着脱しやすい服装を心がけてください。
- (7) 帽子、サングラスの着用は認めません。
- (8) マスクをしている場合は、本人確認のため一時的に外してもらうことがあります。また、マスクは試験場内で破棄せずに、各自で持ち帰るようにしてください。
- (9) 試験中コート等の着用は可能です。上履き等室内靴を用意する必要はありません。
- (10) 筆記用具及び時計類の貸し出しは一切行いません。
- (11) 昼食は必要に応じて持参してください。試験中に本学構内で昼食を購入すること、また昼食を購入するための外出はできません。また、ゴミは各自で持ち帰るようにしてください。

3. その他の注意事項

- (1) 解答が終了しても、試験時間途中での退席は認めません。試験終了後、試験監督者の指示があるまで退席しないでください。ただし、試験途中で気分が悪くなったりトイレに行きたくなった場合は、静かに手を挙げて試験監督者に知らせてください。
- (2) 休憩時間及び面接待機中は校舎の外に出ることはできません。
- (3) 試験場への車での入構はできません。また、試験場周辺の交通の妨げともなりますので、送迎もご遠慮ください。
- (4) 試験場内（校舎・校地内）は禁煙です。
- (5) 保護者等付き添いの方は、試験場には立ち入ることができません。また、付添者控室はありません。
- (6) 試験当日、学校保健安全法施行規則で出席の停止が定められている感染症に罹患し、治癒していない場合又は出席停止期間を経過していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、受験できません。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験できない場合でも、原則として追試験等の措置、入学検定料の返還は行いません。

4. 不正行為について

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為の疑いがある場合には、試験監督者・係員等が事情を聴取することがあります。
 - ・ 願書、写真票、受験票、問題冊子、解答用紙等へ故意に虚偽の記入（本人以外の写真を使用することや、本人以外の氏名・受験番号を記入する等）をすること。
 - ・ カンニング（カンニングペーパーや参考書などを机上等に置いたり見たりすること、他の受験生の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
 - ・ 他の受験生に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
 - ・ 配付された問題冊子・解答用紙を、試験室から持ち出すこと。
 - ・ 試験監督者の指示の前に鉛筆や消しゴムを持っていたり、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
 - ※ イヤホンは耳に装着していれば使用しているものとします。
 - ※ 病気・負傷や障がい等により試験中に補聴器等を使用したい場合は、出願前の事前申請が必要です（20ページ「受験上または修学上の配慮に関する事前相談等について」）。
 - ・ 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
 - ・ 試験監督者の解答終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続け

ること。

- (2) 上記以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。
- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類や、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていること。
 - ・ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音等）を長時間鳴らす等、試験の進行に影響を与えること。
 - ・ 試験に関することについて、自身や他の受験生を利するような虚偽の申出をすること。
 - ・ 試験場において他の受験生の迷惑となる行為をすること。
 - ・ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
 - ・ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- (3) 不正行為と認められた場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した試験のすべての教科・科目の成績を無効とします。

合格発表

1. 合格発表方法について

(1) 合格発表は次の方法で行います。合格結果に関する問い合わせには一切応じられません。

公募推薦	・・・合格照会サイト、合格通知書の郵送
赤十字特別推薦（第1次試験）	・・・合格照会サイト
赤十字特別推薦（第2次試験）	・・・合格照会サイト、合格通知書の郵送

(2) 合格照会サイト

- ・ 合格照会サイトでは、合格発表日の15時に結果を発表します。
- ・ 合格照会サイトは、インターネット出願サイト「Post@net」の「出願内容一覧」メニューからアクセスできます。また、下記 URL を直接入力してもアクセスできます。
- ・ 合格照会には受験番号を使用します。受験票など、受験番号のわかるものは試験後も保管してください。

合格照会サイト：<https://www.postanet.jp/info/012335/>

(3) 合格通知書の郵送

- ・ 合格発表日（赤十字特別推薦選抜は第2次試験の合格発表日）に、合格者宛に合格通知書を発送し、在学高等学校長宛には選考結果を発送して通知します。
 - ・ 合格者には、合格通知書と入学手続書類を簡易書留・速達で郵送します。
 - ・ 赤十字特別推薦第1次試験合格者に対する郵送による通知はありません。合格照会サイトで確認してください。
- ※ 合格照会サイトにシステム障害等の不具合が生じた場合は、合格発表方法を別途お知らせします。

2. 合格発表に関する注意事項

- (1) 合格者には、入学手続書類を合格通知書に同封して郵送します。大学での直接交付は行いません。
- (2) 合格通知書及び入学手続書類は合格発表日に発送します。地域によっては到着まで数日かかる場合もありますので、合格発表日から3日間を過ぎても届かない場合は、入学課入試係（広尾キャンパス）に連絡してください。
- (3) 入学手続書類の不着及び遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認められませんのでご注意ください。

入 学 手 続

1. 入学手続について

- (1) 合格者は、入学手続書類に同封の「入学手続要項」をよく読み、入学手続を行ってください。
- (2) 入学手続書類「誓約書」には、保証人の記名・押印が必要となります。入学手続書類が届く前に次の内容をご確認ください。
 - ・ 保証人は、保護者・親族・配偶者またはこれに準ずる独立の生計を営む成年者としてください。
 - ・ 学生本人及び保証人氏名は、それぞれ自筆で記入してください。また印鑑はそれぞれ別個のものを使用してください。
- (3) 入学手続期間内に入学金の納付及び手続書類の提出等所定の手続を行わなかった場合は、入学を許可できません。
ただし、入学手続期間最終日に入学金を納付した場合であって、金融機関等の処理の都合上翌営業日の取り扱いになった場合は、入学手続期間内に納付されたものとして取り扱います。
- (4) 入学手続未了者に対して本学から個別に手続催促はしませんので、各自の責任で手続を完了してください。
- (5) 提出された書類は、理由のいかんにかかわらず返却しません。

2. 授業料等納付金

2025年度さいたま看護学部（大宮キャンパス）納付金額一覧（予定）

（単位：円）

種 類	納 付 金 額				納 付 時 期
	1年次	2年次	3年次	4年次	
1.入 学 金	300,000	/	/	/	入学手続時
2.授 業 料	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	■ 4月に年額を全納 または ■ 4月・10月に半額ずつ分納
3.実験実習料	100,000	200,000	220,000	220,000	
4.維持運営費	180,000	180,000	180,000	180,000	
合 計	1,780,000	1,580,000	1,600,000	1,600,000	

- ・ いかなる場合においても、入学金は返還しません。
- ・ 保健師教育課程（選択履修）を選択した場合は、上記の他に4年次の4月に別途履修料（予定額：20万円）が必要です。
- ・ 教科書代、実習着・ナースシューズ代等（5万円程度）及び傷害・総合保険（年間4,500円）、保護者会費（年間2万円）等が別途必要です。
- ・ 授業料等納付金は、事情により改定する場合があります。

- ・ 本学では、教育研究の推進や国際交流、教育環境の改善等のため、入学後に寄付金（任意）のご案内をしています。

本募集要項に関して不明な点は、下記までお問い合わせください。

日本赤十字看護大学（広尾キャンパス）

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4丁目1番3号

入学課 入試係

TEL：03-3409-0950（平日9：00～17：00）

ホームページ：<https://www.redcross.ac.jp/>

E-MAIL：nyushi@redcross.ac.jp